W-20
1410T

WOODONE

丁番部品説明書

お客様用

⚠ この商品は専門業者による交換取付が必要です。
交換取付は、お客様自身で行わず、必ず専門業者にご依頼下さい。取付不備により製品本体に不具合が生じ怪我や物品の破損につながる場合があります。
当社では責任を負いかねますので、取付には充分ご注意下さい。

開きドア用丁番セット
（ソフトアート・ピノアース共通）

株式会社 ウッドワン 〒738-0023 広島県廿日市市下平良1-12-1
商品相談窓口 フリーダイヤル 0120-813-331

このたびはウッドワンの商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。
施工前にこの施工説明書をよくお読みいただき、安全に正しく施工されるようお願い致します。

必ずお守りください 安全に正しくお使いいただくために

⚠ 注意 施工に際して以下の注意が守られない場合、施工に従事される方の傷害並びに住まわれる方の傷害または財産上の損害が生じるおそれがあります。確実にお守りください。

- **ドア本体（重量約25kg）の取外・運搬・取付作業が必要です。安全作業に十分ご配慮下さい。二人以上での作業をお勧めします。**
- **取付の強度を確保する為に電動工具での作業をお勧めします。取付強度が不十分な場合扉の脱落などご使用中の事故発生につながる危険性がございます。**
- **取外したドア本体は、必ず水平な状態に置いて作業や保管を行ってください。この場合毛布・マットなどで充分養生を行ってください。**
- **作業に使用する工具類の取り扱いには充分ご注意下さい。**

お願い

- 丁番は、ドア側及び枠側に分かれていますので、必ずドア側と枠側両方とも交換して下さい。
- 作業場所周辺は、充分な空間を確保すると共に、壁面・床面・枠材などの養生にも充分ご配慮下さい。
- 2000年以前の丁番交換の場合は、上下同時に交換してください。

交換作業の流れ

内容物の確認 → ドア取り外し → 丁番取り外し →
丁番取り付け → ドア取り付け → 丁番調整

⚠ 注意 2000年以前に取付けたドアの丁番交換につきましては、ドア側丁番取付位置に追加の座彫り加工が必要となります。

ご用意頂く道具や備品

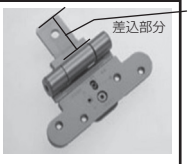
電動ドライバー(注1)**・かなづち・カッター・マット等の敷物や作業補助具**〈養生等に使用します〉

2000年以前の丁番を取り替える際に必要な追加道具類

ノミ〈座彫り加工に使用します〉・
4mmの六角レンチ
〈ドアの取外しに使用します。**同梱のレンチは3mmの調整用のため使用出来ません**〉

（注1）取付ビスの脱着作業は、手回しドライバーでも行えますが、十分な締付により取付の強度を確保するために、電動ドライバーのご使用をお勧めします。また状況によりキリなどで下穴加工を行い確実に固定を行ってください。

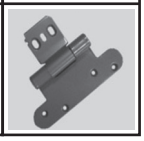
部品表

ドア側	枠側
	

丁番の形状です。（画像はゴールド色）
①ロングは枠側丁番の差込部分52mm、ショートは枠側丁番の差込部分47mmとなります。
②色は、シルバー・ゴールド・ブラックの3種類あります。
③取替用の丁番は、現行タイプであり、ご使用中の丁番と仕様の一部が異なる場合があります。

		セット品番	本体	取付ビス	埋め木セット	スペーサー
丁番シルバー	ロング	ZH1401-L-S	枠側1・ドア側1	枠側（短）‥4 ドア側（長）‥4 3mm六角レンチ‥1 ※取付後の調整作業に使用	1セット （セット内容） 埋め木材 接着剤1本	1セット（2枚入） （注意） 現在ご使用の丁番が右記に該当する場合の交換作業に使用します。
	ショート	ZH1401-S-S	枠側1・ドア側1			
丁番ゴールド	ロング	ZH1401-L-G	枠側1・ドア側1			
	ショート	ZH1401-S-G	枠側1・ドア側1			
丁番ブラック	ロング	ZH1401-L-B	枠側1・ドア側1			
	ショート	ZH1401-S-B	枠側1・ドア側1			

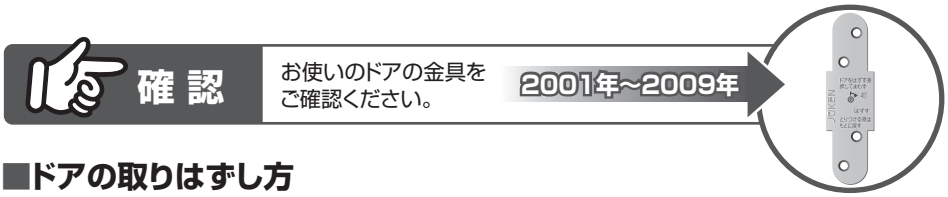
【2000年以前の丁番】

ドア側	枠側
	

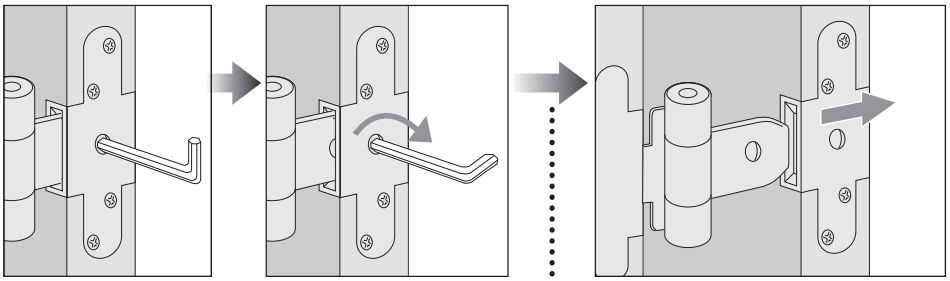
2001年以降ドアの取り外し

2000年以前に取付けたドアにつきましては、5頁にお進み下さい。

押して回して外すタイプ



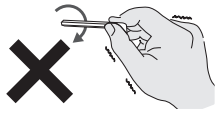
■ドアの取りはずし方



❶ ドア側丁番の解除穴にレンチを差し込んで押さえながら右(はずす方向)へ軽くひねります。(丁番上下2ヶ所共)

❷ 中のロックボタンがひっこんだままになり、ドアがリリースできます。

【お願い】

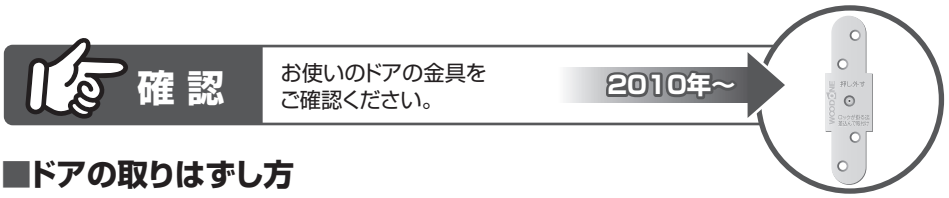


きつく力を込めて廻(まわ)すのはおやめください。破損の原因になります!

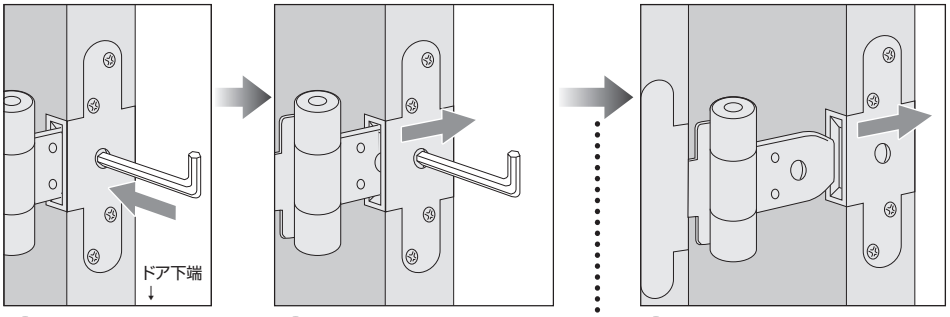
⚠ 注意

取り付け後、ロックボタンが引っこんだままですと、扉が脱落し、ケガをするおそれがありますので、必ずロックボタンが出ていることを確認してください。

押して外すタイプ



■ドアの取りはずし方



❶ ドア側丁番の解除穴に六角レンチを差し込んで押さえてください。

❷ ドアを少しずらすように引いて、ロック解除状態にしてください。

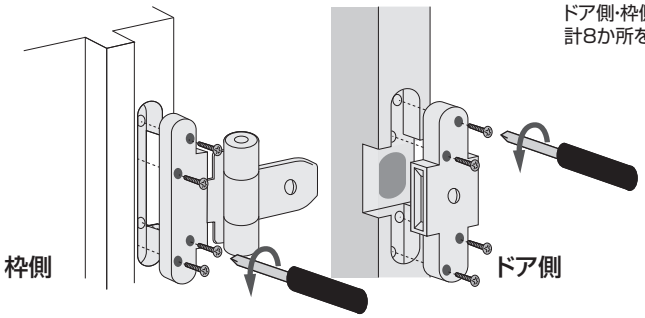
❸ 同時にドア側丁番の上側を行って、ロック解除状態にしてください。

❹ 上側と下側の両方共にロック解除状態にしてドアをゆっくりと取り外してください。

⚠ 注意

ドアをはずして再度取り付ける際にはドア側丁番のロックボタンが、プレートの手前まである事をご確認ください。
ドアを取り外した際にはロックボタンがプレートの手前に戻りますが、再度取り付けの際には今一度ご確認の上取り付けを行ってください。

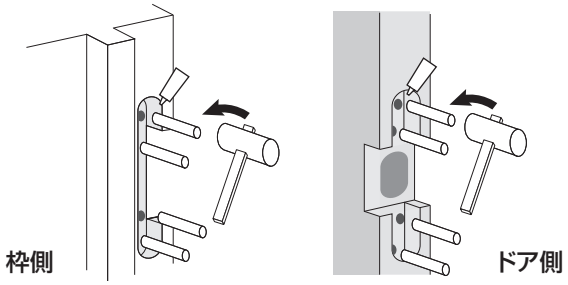
ご使用中の丁番の取り外し



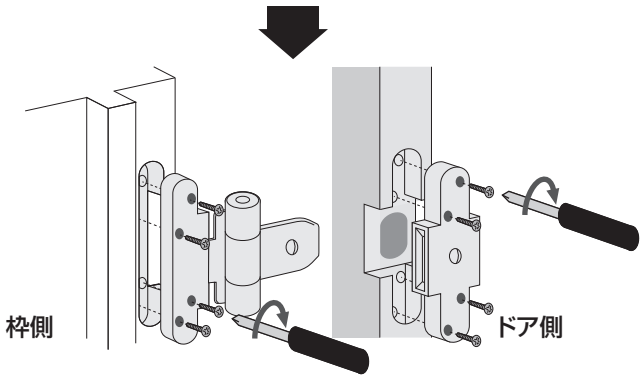
ドア側･枠側丁番の取付ビス(左図←)
計8か所をプラスドライバーで取り外してください

丁番の取付

(1)扉側・枠側のネジ穴に埋め木をします。
①埋め木に接着剤を付けます。
②ネジ穴に埋め木を入れる。
〈かなづち等で軽く叩き込んでください。〉
③埋め木の頭が出ている時は、カッター等で削りとって下さい。
④2000年以前の丁番を取替える場合、扉側のスペーサーをつける前にネジ穴に埋め木をして下さい。



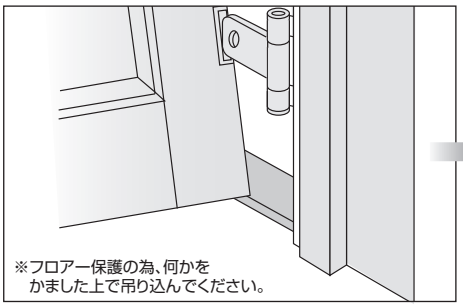
(2)丁番を取り付けます。
①丁番の取付けネジ穴に合わせ扉・枠本体の取付け部にキリ等で下穴(やとい穴)をあけます。
i)通常は元のネジ穴(埋め木)部分と一致します。
ii)下穴(やとい穴)は、取付けビスの折れ・曲がり等を防ぎ確実な締付けを行う為に必要です。
②同封の取付ビスにより　扉側4箇所、枠側4箇所を確実に固定し丁番を取付けてください。
iii)取付けビスは、扉側用(長いビス)と枠側用(短いビス)の2種類ありますのでご注意下さい。
iv)取付けネジは、最後まで確実に締め込んでください。
③丁番の取付けネジの緩み、丁番のガタツキ等が無い事を確認後扉を取り付けます。



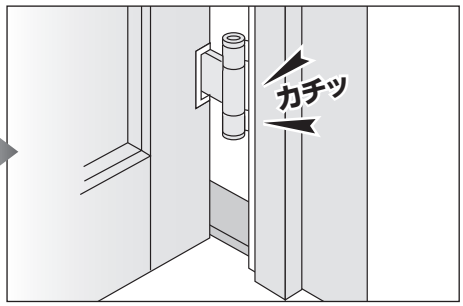
扉の取付

⚠注　意　再度ドアを取り付ける前にロックボタンがプレートの手前に戻っているかどうか確認しておいてください。

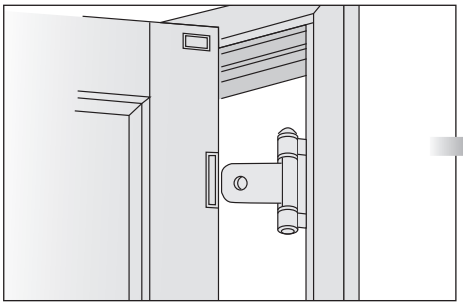
■ドアの再取り付け



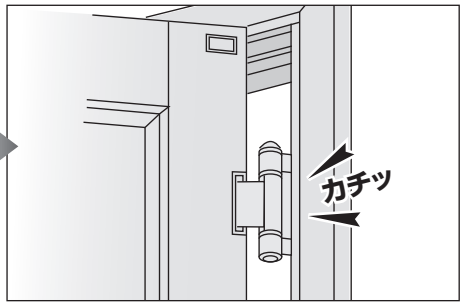
❶ 吊り込む方だけを少し持ち上げて、下側のベロを差し込みます。



❷ カチッと音がし、固定されるまで差し込んでください。



❸ 上部のベロを位置合わせします。



❹ カチッと音がし、固定されたら吊り込み完了です。

■ドアボトムをお使いの時

⚠注意

使用に際して以下の注意が守られない場合、住まわれる方の傷害または財産上の損害が生じるおそれがあります。確実にお守りください。

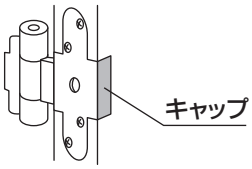
プッシャーにゴミ、ほこりが付着しないようにしてください。

エアータイトゴムを押し出すための突起物である「プッシャー」にゴミ、ほこりがつかないようにしてください。うまく作動しなかったり故障の原因となります。

ドアボトムの下に物をはさまないようにしてください。

ドアの下端(したば)と床面もしくは下枠との間に物をはさまないでください。障害物のあるままドアを閉めますと、無理な力が加わり損傷の原因となります。

枠側丁番にテープで貼りつけてあるキャップは、右の図のように、差し込み口の反対側の木口に仕上げとしてご使用ください。

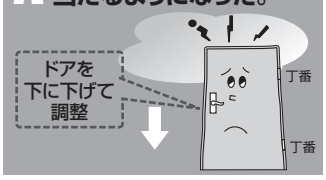


丁番調整方法

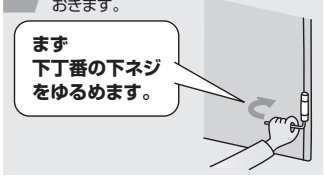
こんな時は どうしたらいいの？

親子ドア・シングルドア　調整丁番

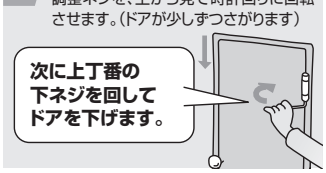
A ドアの上部が枠に当たるようになった。



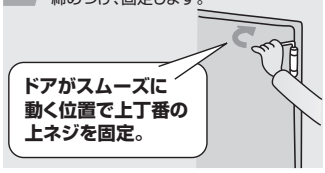
1 下丁番の下部調整ネジを、上から見て時計回りに回転させ、ネジをゆるめておきます。



2 ドアの上部がスムーズに動くまで、ドアと枠とのスキ間を見ながら、上丁番の下部調整ネジを、上から見て時計回りに回転させます。（ドアが少しずつさがります）

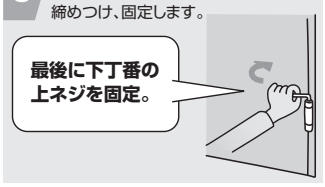


3 上丁番の上部調整ネジを、上から見て時計回りに回転させ、しっかりと締めつけ、固定します。

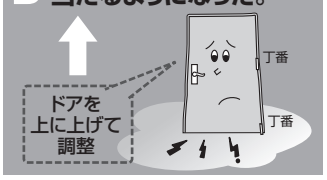


4 下丁番の下部調整ネジを、止まるまで上から見て時計と逆回りに回転させます。

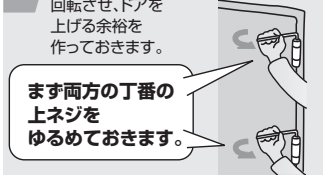
5 下丁番の上部調整ネジを、上から見て時計回りに回転させ、しっかりと締めつけ、固定します。



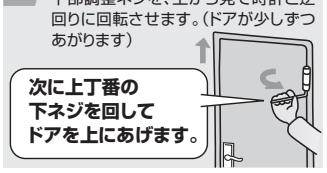
B ドアの下部が枠に当たるようになった。



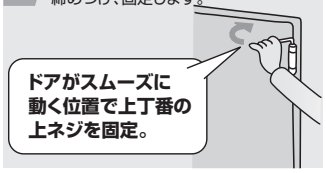
1 上下の丁番ともそれぞれの上部調整ネジを、上から見て時計と逆回りに回転させ、ドアを上げる余裕を作っておきます。



2 ドアの下部がスムーズに動くまで、ドアと枠とのスキ間を見ながら、上丁番の下部調整ネジを、上から見て時計と逆回りに回転させます。（ドアが少しずつあがります）

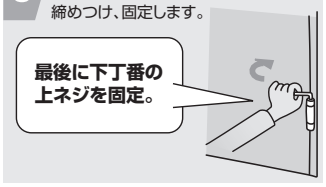


3 上丁番の上部調整ネジを、上から見て時計回りに回転させ、しっかりと締めつけ、固定します。

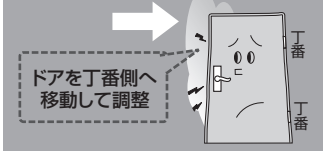


4 下丁番の下部調整ネジを、止まるまで上から見て時計と逆回りに回転させます。

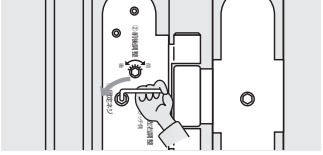
5 下丁番の上部調整ネジを、上から見て時計回りに回転させ、しっかりと締めつけ、固定します。



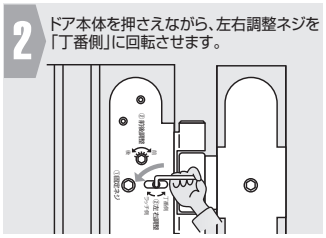
C ドアのレバーハンドル側につかえるようになった。



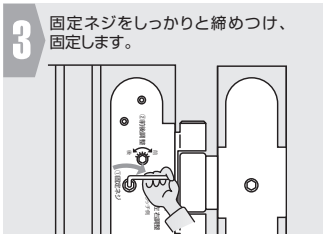
1 固定ネジをゆるめます。



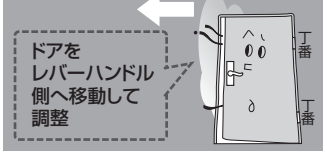
2 ドア本体を押さえながら、左右調整ネジを「丁番側」に回転させます。



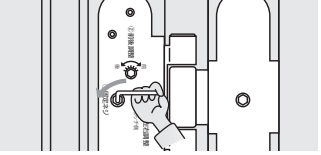
3 固定ネジをしっかりと締めつけ、固定します。



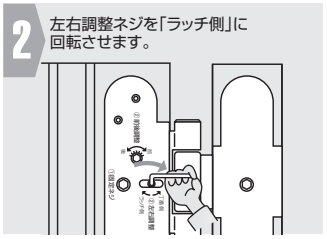
D ドアのレバーハンドル側にすき間が開きすぎる。



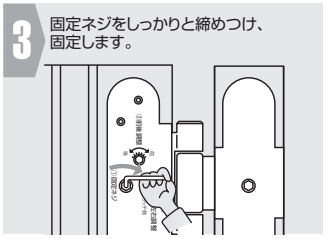
1 固定ネジをゆるめます。



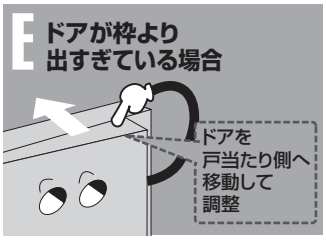
2 左右調整ネジを「ラッチ側」に回転させます。



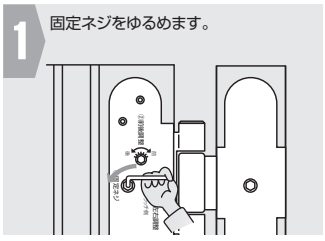
3 固定ネジをしっかりと締めつけ、固定します。



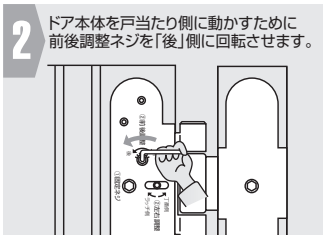
E ドアが枠より出すぎている場合



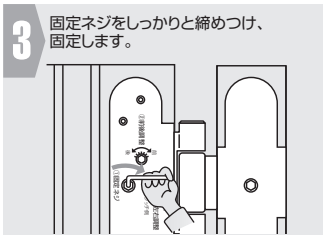
1 固定ネジをゆるめます。



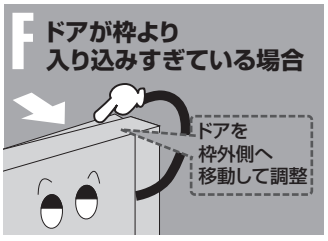
2 ドア本体を戸当たり側に動かすために前後調整ネジを「後」側に回転させます。



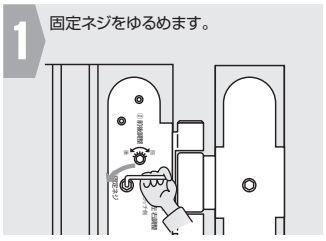
3 固定ネジをしっかりと締めつけ、固定します。



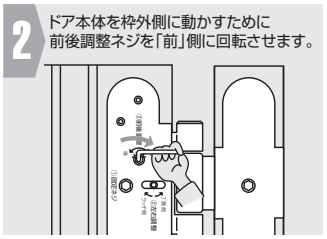
F ドアが枠より入り込みすぎている場合



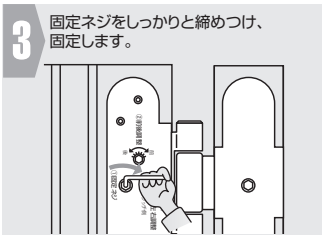
1 固定ネジをゆるめます。



2 ドア本体を枠外側に動かすために前後調整ネジを「前」側に回転させます。

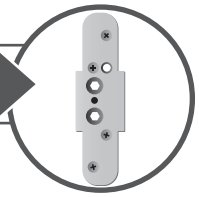


3 固定ネジをしっかりと締めつけ、固定します。

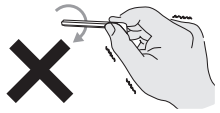


2000年以前ドアの取り外し

確認 お使いのドアの金具をご確認ください。 ～2000年

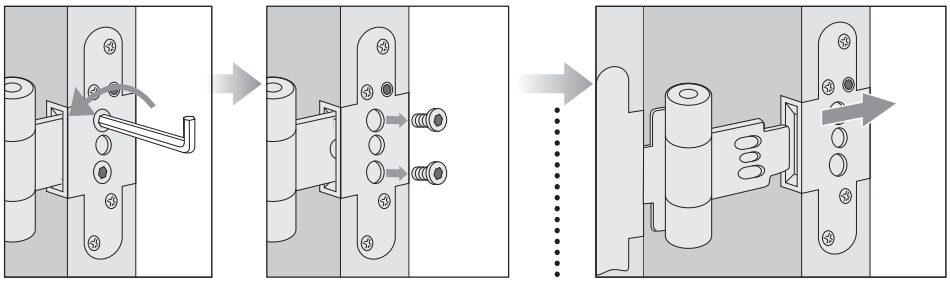


【お願い】



きつく力を込めて廻(まわ)すのはおやめください。破損の原因になります!

■ドアの取りはずし方 六角レンチ（4mm）を使用します。

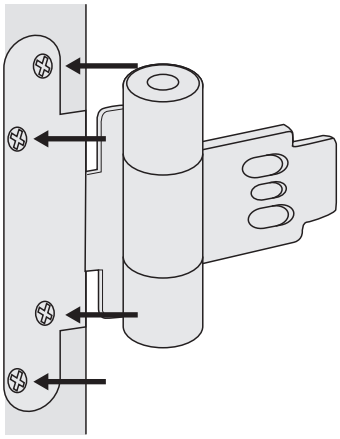


❶ ドア側丁番の固定ネジ穴にレンチを差し込んで押さえながら左へ回して外します。（丁番上下2ヶ所共）

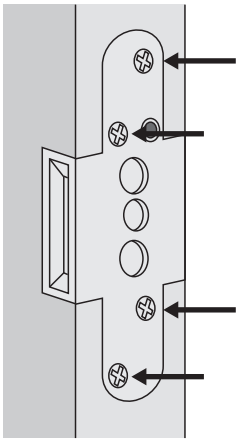
❷ 固定ネジを完全に抜き取りドアを取りはずします。

ご使用中の丁番の取り外し

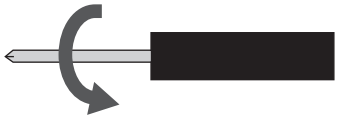
枠側



ドア側



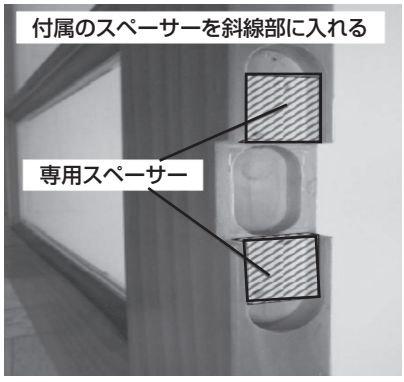
ドア側･枠側丁番の取付ビス（左図←）
計8か所をプラスドライバーで取り外してください

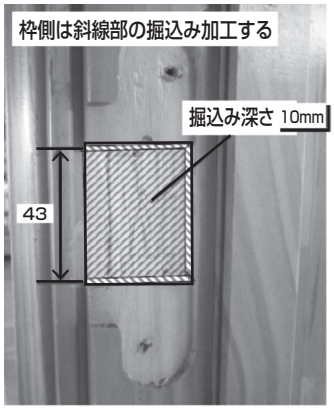


2000年以前の丁番を取り替える場合の準備作業

⚠ 注意 2000年以前の丁番を取り替える場合は、古い丁番を取り外した後、ドア及びドア枠本体に各々次の取付け準備作業を行って下さい。

扉の丁番取付穴にスペーサーを貼りつける。
※スペーサーの取付け位置は下図を参照して下さい。



スペーサーを取付ける前にネジ穴に埋め木を行ってください。

枠の丁番加工穴に追加工する
※加工寸法及び形状は下図を参照して下さい。